
秘めたる愛を沈黙の華へ

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秘めたる愛を沈黙の華へ

【コード】

N1006N

【作者名】

嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】

.....

凍結している薔薇の跡。
へばりついて、進まぬ景色。

廻る、廻る。
誰彼が誰彼に変わってゆく。
廻る、廻る。

誰彼が何かに変わってゆく。
独りを置いて廻る……。

日だまりに枯らされる華。
日陰にそつと、ずつと

痛ましい光りの中。

晴れた空は、変わらないまま。

廻る、廻る。
誰彼が誰彼に変わってゆく。
廻る、廻る。

誰彼が何かに変わってゆく。

残像の塊を愛でているばかり。
日々、万華鏡覗き見ている。
被愛捜して、沈黙の華へ……。

いつまでも、清々しい程、晴れ渡る空。

焼き切れれば消えるのかと、見上げていた。
瞼の裏で燻るだけだった。

不動の空。

誰彼と誰彼の終わりの日。

廻る、廻る。

空と独りを置き去りにして。

残像の塊を愛でているばかり。

日々、万華鏡覗き見ている。

被愛捜して、沈黙の華へ

やがて降り始めた大雨の今日。

嗚呼、今頃血を流していた。

悲哀は傍で佇んでいた。

廻る空は微睡みを消せない俤。

今、全てが終わり廻ってゆく。

事実受け止め、沈黙の華へ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1006n/>

秘めたる愛を沈黙の華へ

2010年10月10日22時57分発行